

# 日本社会情報学会通信

Vol.22 No.1 2006.12.1

## 日本社会情報学会

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 3-38-4-408

TEL 0422-40-2062 FAX 0422-40-2062

E-mail [jasi@jade.dti.ne.jp](mailto:jasi@jade.dti.ne.jp)

U R L <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jasi/>

## ☆ 会 長 挨拶 ☆

### 【平成19年度事業計画の方針と役員体制】

日本社会情報学会 会長 遠藤 薫

みなさま、日ごろ日本社会情報学会の活動に活発なご協力をいただき、心より感謝申し上げます。グローバル化の潮流の中で、社会は今、大きく変わろうとしています。

社会情報学会の役割も、情報や知識の重視される社会の到来、またそれをさらに推進するユビキタス・ネットワーク技術の発展などにより、今後ますます重要性を増していくと考えられます。(その詳しい内容については、日本社会情報学会のサイト <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jasi/>をご参照下さい)。

また、社会情報学は、その本質上、学際的、分野横断的な性格をもったディシプリンです。このことを踏まえて、関連諸学協会はもとより、広く産官学民との協働を推進し、オープンでフレキシブルな学会を実現したいと考えております。

そして、理論と実践を統合した新時代のアカデミズムの構築を皆さまとともに図っていきたいと考えております。

以上の考えから、次のような平成19年度事業計画を策定いたしました。

みなさまのいっそう積極的なご参加とご支援をお願いいたします。

#### <平成19年度事業計画>

##### 1. 問題解決に資する学会を目指す

◇ 日本社会情報学会は、産官学民の協働をすすめます。

##### 2. 幅広い学術的交流の推進

◇ 全国大会 (JASI・JSIS 合同大会を予定) を秋に名古屋で開催します

◇ 年数回、特定のテーマにそった定例研究会を開催します

◇ 年数回、情報政策に特化した情報政策研究会を開催します

◇ 自由なテーマで組織された研究部会の例会を開催します

◇ 地方支部の支部研究会を開催します

◇ 他学会との協働によるオープンなシンポジウムを開催します

##### 3. 会員増加を図る広報活動の推進

##### 4. 学会活動全般の活性化に資する方策についての会員の意見・提言の積極的な実現

◇ 評議員会を開催します

◇ 常任委員会を開催します

## &lt;平成19年度役員体制&gt; (敬称略)

[会長] 遠藤 薫 学習院大学法学部 教授  
 [副会長] 須藤 修 東京大学大学院情報学環・学際情報学府 教授  
 廣松 毅 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部 教授

## &lt;常任委員長&gt; \*兼任

・常任理事 前田 隆正  
 ・総務委員会 \*須藤 修 ・企画委員会 福田 豊  
 ・学術委員会 \*廣松 毅 ・表彰委員会 小菅 敏夫  
 ・事務局 和泉 恵子

## &lt;支部長&gt;

・関西支部 小郷 直言  
 ・九州支部 財部 忠夫  
 ・中部支部 内山 哲治

## [監査人]

田村 紀雄 東京経済大学  
 尾関 敬二 特別区職員研究所

## [理事] 50音順

安藤 明之 東京経済大学コミュニケーション学部 教授  
 今井 雄一 トップラン・フォームズ(株) 執行役員・企画本部長  
 内山 哲治 名古屋産業大学環境情報ビジネス学部 教授  
 海野 忍 (株)NTTデータ 執行役員 第三公共システム事業本部長  
 太田 敏澄 電気通信大学大学院情報システム学 研究科 教授  
 清原 慶子 三鷹市 市長  
 熊田 禎宣 千葉商科大学政策情報学部 教授  
 國領 二郎 慶応義塾大学環境情報学部 教授  
 小郷 直言 大阪大学大学院経済学研究科 助教授  
 小菅 敏夫 デジタルハリウッド大学 教授  
 五藤 寿樹 日本橋学館大学人文経営学部 助教授  
 小林 宏一 早稲田大学 客員教授  
 小向 鋭一 東洋オフィスメーション(株) 常務取締役  
 真田 英彦 追手門学院大学経営学部 教授 総合情報教育センター長  
 島田 達巳 摂南大学経営情報学部 学部長・教授  
 財部 忠夫 中村学園大学流通科学部 教授  
 茶谷 達雄 都市情報システム研究所 所長  
 辻井 重男 情報セキュリティ大学院大学 学長  
 刀川 眞 (株)NTTデータ 開発本部システム科学研究所 主任研究員  
 富永 英義 早稲田大学大学院国際情報通信研究科 教授  
 富山 慶典 群馬大学社会情報学部 教授  
 中井 豊 芝浦工業大学システム工学部 教授  
 長島 雅則 (株)インフォマティクス代表取締役社長  
 根本 敏則 一橋大学大学院商学研究科 教授  
 鳩山 由紀夫 衆議院議員  
 濱田 純一 東京大学大学院情報学環 教授  
 平野 浩 学習院大学法学部政治学科 教授  
 平林 幹朗 キャリア・アップ企画 代表  
 福田 豊 電気通信大学人間コミュニケーション学科 教授  
 藤原 博彦 明治大学情報コミュニケーション学部 助教授  
 前田 隆正 NPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構 理事  
 宮崎 緑 千葉商科大学政策情報学部 助教授  
 安本 哲之助 情報システム監査(株) 参与  
 山森 俊彦 エヌ・ティ・ティ・データクリエイション(株)代表取締役社長  
 渡辺 慶和 岩手県立大学ソフトウェア情報学部 教授

## ☆ 理事会報告 ☆

## 【第5回理事会報告】

日時 平成18年7月21日（金）18:00-20:00

会場 学習院大学東2号館8階第1会議室

出席者 11名（順不同敬称略）

遠藤、平野、前田、内山、藤原、安藤、五藤、中井、富山、茶谷、和泉

## 議事

- 1 委員会報告
- 2 全国大会
- 3 評議員選出について
- 4 その他

## 配布資料

- 1 第4回理事会議事録
- 2 総務委員会報告
- 3 入会・退会
- 4 学術委員会報告
- 5 情報政策研究会報告
- 6 企画委員会報告
- 7 評議員候補
- 8 大会関連理事会資料
- 9 全国大会ワークショップ案
- 10 自治体ワークショップ

## 議事内容

- 1 資料1に基づき、第4回理事会議事録を承認した。
- 2 資料2に基づき、第2回総務委員会、会員内訳および経費収支の報告があった。
- 3 資料3に基づき、入会14名、退会6名が承認された。
- 4 資料4に基づき、五藤理事より第4回、第5回学術委員会の報告があった。  
論文賞審査についての進捗、合同大会については合同ワークショップ、チュートリアルについて報告があった。
- 5 資料5に基づき、前田理事より、第45回情報政策研究会、第46回情報政策研究会（予定）、第2回会合の報告があった。
- 6 資料6に基づき、安藤理事より、第102回、103回、104回定例研究会と特別企画国際シンポジウム（予定）の報告があった。
- 7 資料7に基づき、評議員候補者16名が承認された。  
ただし、東海北陸地域内山理事から、すでに北陸地域の評議員候補としてあげられている林敬三氏を名古屋産業大学からの候補とし、東海北陸地域の候補には別の方を推したい旨報告された。  
さらに、役員経験者からの候補としては、3名が挙げられた。  
評議員会は、学会大会第1日目17時30分～18時に行う。
- 8 資料8に基づき、平野理事より全国大会会場についての報告があった。  
遠藤会長より、日程、ポスター送付、会員名簿交換、基調講演、基調シンポジウム、合同ワークショップ委員会、各セッション、参加費、懇親会、広報活動について報告があった。  
中井理事よりJ-stageについて報告があった。今回大会の予稿はJASI-JSIS合同名義で登録する。
- 9 資料9に基づき、遠藤会長より9月14日午後開催予定、田中学術委員からの学習院大学共催全国大会ワークショップ企画案について報告があった。
- 10 資料10に基づき、茶谷理事より、自治体ワークショップについて報告があった。自治体、全国大会ワークショップについては、それぞれサブタイトルを検討することとした。
- 11 システム貢献賞の候補として、千代田区・長岡市、DoCoMoリアルマネージメントが挙げられた。

12 中部支部内山理事より、10月7日(土)に中部支部主催フォーラムを名古屋にて開催する予定であることが報告された。

次回、第6回理事会は8月23日(水)10:00 会場は学習院大学東2号館8階第3会議室

#### 【第6回理事会報告】

日時 平成18年8月23日(水)18:00-20:00

会場 学習院大学東2号館8階第3会議室

出席者 12名(順不同)

遠藤、茶谷、平野、小林、小菅、福田、前田、安藤、五藤、今井、尾関、和泉

#### 議事

- 1 委員会報告
- 2 全国大会
- 3 総会について
- 4 その他

#### 議事内容

- 1 理事会資料に基づき、小菅表彰委員長より第1回表彰委員会における平成18年度学会賞受賞者の報告があり、それを承認した。  
秋山賞においては、その対象を広げ検討していくことを承認した。  
小林理事より、受賞事由等の報告があり、それを承認した。
- 2 理事会資料に基づき、入会者2名、退会3社、3名をそれぞれ承認した。
- 3 理事会資料に基づき、特別決算の秋山基金収支報告、全国大会収支報告、H18年度科研費収支報告を承認した。  
特別決算については、総会において公開する。
- 4 理事会資料に基づき、次期評議員が承認された。
- 5 遠藤会長より、JSIS&JASI 合同研究発表会についての進捗が報告された。
- 6 総会資料に基づき、第1号議案事業報告、第3号議案事業計画案について、各委員会における事業報告および事業計画案が報告され、それを承認した。
- 7 総会資料に基づき、第2号議案平成18年度収支決算案が承認された。  
なお資料は暫定の数字であり、8月末までを仮決算とする。
- 8 総会資料に基づき、第4号議案定款第47条会計年度の変更について、協議しそれを承認した。
- 9 総会資料に基づき、第5号議案定款第10条において、禁治産制度廃止により、一部改定することが承認された。
- 10 総会資料に基づき、第6号議案平成19年度予算案が承認された。  
団体会員については、会計上の問題、会員の減少傾向などを考慮し、平成19年度会費一口5万円を据え置くこととした。  
団体会員減少への対応については総務委員会が原案を作成し、理事会において審議することとした。

## ☆ 第22回全国大会研究発表募集について☆

学術委員会 委員長 廣松 毅

本年度は、学会の年度の変更がありましたため、例年よりも開催要項の決定が遅くなります。したがって、改めて、本件に関する詳細は別途ご案内いたします。

なお研究発表は、1件につき30分を予定しています。研究発表のテーマと致しましては、広く社会における情報に関する最先端の論題、高度情報社会、社会システム、政治システム、経済システム、行政システム、医療システム、教育システム、法体系、地域・自治体・生活社会の情報化、電子政府・電子投票・電子商取引・電子コミュニケーション、仮想社会・仮想組織、インターネット・イントラネット・エクストラネット、など自由にお考え下さい。

第22回全国大会におきます研究発表につきましては、大会終了後に研究発表賞選考委員会を開催し、座長の方および大会参加者の方々の投票にもとづきまして、第9回研究発表賞の選考を行う予定に致しております。なお、第8回研究発表賞受賞者の方々のお名前、ご発表表題につきましては、本学会通信に掲載いたしておりますので、ご参照下さい。

多数の皆様の発表をお待ちしております。奮ってご応募くださいますようお願いいたします。

★第22回全国大会の開催要綱は現在検討中です。

決定後、下記の詳細をご案内いたします。

<第22回全国大会開催日、会場>(予定)

日 時: 平成19年11月頃を予定

会 場: 名古屋大学(予定)

詳細ご案内予定

\*決定次第 学会ホームページに掲載 (<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jasi/>)

\*2007年4月1日発行の学会通信に掲載

(本件に関する問合せ 学会事務局 TEL 0422-40-2062/Mail [jasi@jade.dti.ne.jp](mailto:jasi@jade.dti.ne.jp))

## ☆ 第21回 日本社会情報学会全国大会報告 ☆

第21回全国大会実行委員長  
遠藤 薫 (学習院大学)

平成18年9月12～14日に開催された第21回日本社会情報学会 (JASI) 全国大会は、延べ約400名を超える参加者を集め、盛況のうちに幕を閉じました。基調講演、基調シンポジウム、一般研究報告 (72件)、JASI・JSIS合同ワークショップ (5件)、自治体ワークショップ、ワークショップ、チュートリアル、学習院共催シンポジウムが3日に渡り開催されました。これもひとえに会員皆様の熱意の表れと存じ、深く感謝いたします。また、本大会にご協賛戴きました団体・企業の方々に心より御礼申し上げます。

## 【開催概要】

2006年日本社会情報学会 (JSIS) (JASI) 合同研究大会

統一テーマ「今、あらためて社会情報学を問う」

開催日時 2006年9月12日 (火) - 14日 (木)

開催校：学習院大学

## 日本社会情報学会 (JSIS&amp;JASI) 合同研究発表大会プログラム次第

第1日目： 9月12日 (火) 会場：創立百周年記念会館

- 9:00 受付開始 (1階ホワイエ)
- 9:30 大会開催挨拶 (1階正堂)
- 9:40～12:00 基調講演 (1階正堂)  
講演者 坂村健 (東京大学教授)  
公文俊平 (多摩大学教授)  
司会 廣松毅 (東京大学教授)
- 12:00～13:00 JSIS 理事会 (2階会議室1)  
JASI 総会 (3階小講堂)
- 13:00～14:00 JSIS 総会 (1階正堂)
- 13:00～16:00 JASI 自治体ワークショップ (3階小講堂)
- 14:00～14:30 Coffee Break
- 14:30～17:30 基調シンポジウム (1階正堂)  
テーマ 「今、あらためて社会情報学を問う」  
報告者 阿部圭一 (愛知工業大学)、遠藤薫 (学習院大学)  
杉山あかし (九州大学)、木村忠正 (早稲田大学)  
司会 廣松毅 (東京大学教授)、伊藤守 (早稲田大学)
- 17:30～18:00 JASI 評議委員会 (4階会議室4)
- 18:00～ 懇親会 (輔仁会館2階さくらラウンジ)

第2日目： 9月13日 (水) 会場：西2号館

- 9:00 受付開始 (西2号館2階205)
- 9:30～10:45 自由報告部会Ⅰ (西2号館3、4階)
- 11:00～12:15 自由報告部会Ⅱ (西2号館3、4階)
- 12:20～13:20 ワークショップ打ち合わせ (西2号館2階204)
- 13:30～14:45 自由報告部会Ⅲ (西2号館3、4階)
- 15:10～17:30 合同ワークショップ (西2号館3、4階)

第3日目： 9月14日 (木) 会場：創立百周年記念会館

- 9:00 受付開始 (1階ホワイエ)
- 9:30～12:00 JASI チュートリアル「エージェント・ベース・モデリングの技術と応用」 (2階会議室1)

- 10:00-12:10 JASI ワークショップ「経済システム情報化の現在」  
(2階会議室2)
- 13:00-16:00 日本社会情報学会・学習院大学共催シンポジウム  
(3階小講堂)

### 自由報告部会プログラム

#### ■ 自由報告部会 I (9:30-10:45)

##### I-1 国際比較部会 (西2-303) 座長: 吉井博明 (東京経済大学)

「中国の金融制度改革と情報技術」 東霞 (電気通信大学)

「中国におけるIT政策の特徴と方向性」 李瑩玉 (電気通信大学)

「IT戦略を支える情報教育の方向性-日本と台湾を事例に」

○岡本ひろみ (東京経済大学) ○曾美芳 (東京経済大学) 安藤明之 (東京経済大学)

##### I-2 コミュニケーション部会① (西2-304) 座長: 藤原博彦 (明治大学)

「バーチャル組織におけるコミュニケーション研究-研究・開発プロジェクト事例考察」

沼田秀穂 (電気通信大学)

「関係論的観点からの「ユーザー」モデルの検討」

今江崇 (電気通信大学)、兼子正勝 (電気通信大学)

「電子コミュニティにおけるレスのネットワーク構造に関する分析」

—藤沢市民電子会議室の実証分析— 平本一雄 (東京工科大学)、石村享久 (ヤフー㈱)

平岡岳 (ビーコンシステム㈱)、○山下加奈恵 (東京工科大学)

##### I-3 情報システム部会① (西2-305) 座長: 富山慶典 (群馬大学)

「重層的プラットフォーム戦略の考察」 藤原正弘 (東京大学)

「企業のICT投資と企業価値に関する実証分析」 上野景真 (東京大学)、田中秀幸 (東京大学)

「m-ラーニングにおける自律型学習モデルの検討」

小薮慶太郎 (電気通信大学)、太田敏澄 (電気通信大学)

##### I-4 医療情報、情報リテラシー部会 (西2-306) 座長: 福田豊 (電気通信大学)

「情報リテラシー新指標の開発に関する研究」

清水裕史 (創価大学)、坂部創一 (創価大学) 関口義一 (創価大学)

「医療情報とセキュリティ・個人情報保護」 国島義明 (富士通総研)

「我国における公害・薬害の歴史と医療情報の開示」 清水淳子 (群馬大学)

##### I-5 地域情報システム部会① (西2-403) 座長: 岩佐淳一 (茨城大学)

「コミュニティ・インフォマティクスと地域空間形成」 遠山茂樹 (高知大学)

「中山間地における高齢者福祉政策に対する住民意識」 今田寛典 (呉大学)

「高等学校の教科情報における教育改善の考察」

辻誠一 (東京都立小川高等学校)、関口義一 (創価大学)

##### I-6 地域情報システム部会② (西2-404) 座長: 兼田敏之 (名古屋工業大学)

「地方自治体によるGISを利用した情報発信に関する研究」 山本佳世子 (名古屋産業大学)

「公的ICカード政策の受容性向上と地方自治体職員の意識に関する考察」

小林隆 (東海大学)、○朝川友美 (東海大学)、石原秀典 (東海大学)

松浦羽瑠香 (東海大学)、吉田彰夫 (東海大学)

「オープンソースによる地域革新モデルに関する研究」

○坂本勝 (早稲田大学)、小倉博行 (三菱電気株式会社)

##### I-7 インターネットとコミュニティ部会① (西2-405) 座長: 加藤晴明 (中京大学)

「インターネットコミュニティ類型を用いた日韓インターネットコミュニティ利用行動の分析」

小笠原盛浩 (東京大学)

「コミュニティへの回帰と地域ネットコミュニティ」 三浦伸也 (東京大学)

「インターネットのコミュニティから生成される場」

—メンタルヘルス系の人々を事例として— 前田至剛 (関西学院大学)

##### I-8 ネットワーク、データベース部会 (西2-406) 座長: 刀川眞 (室蘭工業大学)

「CMCネットワークの創造する価値に関する一考察」 増田晋哉 (電気通信大学)



「非市場的領域におけるオンラインコミュニティの可能性」 永井睦美（電気通信大学）

「携帯電話プラットフォームによる食品栄養情報のオープンデータベースの構築」

山内章恵（名古屋大学）、安田孝美（名古屋大学）、横井茂樹（名古屋大学）

自由報告部会 II（11:00～12:15）

II—1 コミュニケーション部会②（西2—303）座長：平野浩（学習院大学）

「携帯電話の通話および携帯メールの社会ネットワークの比較分析(1)」

：ネットワーク構造の特徴に関する分析」

北村智（東京大学）、地引泰人（株式会社ベネッセコーポレーション）

秋山大志（独立行政法人メディア教育開発センター）

堀田龍也（東京大学）

「携帯電話の通話および携帯メールの社会ネットワークの比較分析(2)」

：ネットワークの構成員（個人）に着目した分析」

地引泰人（東京大学）北村智（株式会社ベネッセコーポレーション）

秋山大志（独立行政法人メディア教育開発センター）

堀田龍也（東京大学）

「theアイコンが示す時間と空間の直接的相互反映」水野勝仁（名古屋大学）

II—2 基礎理論部会（西2—304）座長：黒須俊夫（群馬大学）

「共感されやすい意見の論理構造」

齋藤耕一（（有）コウゲツ）、大幢勝利（独立行政法人産業安全研究所）

櫻井成一郎（明治学院大学）、寺野隆雄（東京工業大学）

「情報の複文定義」田中一（北海道大学）

「形式概念を用いたデータ解析：幼児の「発育行動記録」の分析を事例として」

長田博泰（札幌学院大学）

II—3 情報システム部会②（西2—305）座長：黒葛裕之（関西大学）

「社会的ジレンマに基づく環境教育プログラムの提案」

諏訪博彦（電気通信大学）、山本仁志（立正大学）

岡田勇（創価大学）、太田敏澄（電気通信大学）

「ソーシャルネットワーキングサイトを利用した受講生管理」

小林正樹（愛知文教大学）

「初等教育における指導不足教員の改善に関する研究」

田中健一（三鷹市教育委員会）、関口義一（創価大学工学部）

II—4 情報・ガバナンス部会①（西2—306）座長：太田敏澄（電気通信大学）

「ITシステム活用のためのリスク管理手法に関する考察」山本秀男（一橋大学）

長谷川正巳（IB ビジネスコンサルティングサービス株式会社）

「電子自治体、公民連携、ITガバナンス」後藤玲子（茨城大学）

「インターネット時代にける緊急通報の動向と課題」

佐藤直（情報セキュリティ大学院大学）、名古屋貢（デュアキズ株式会社）

大和田允彦（デュアキズ株式会社）、辻利秀（ホーチキ株式会社）

II—5 地域情報システム部会③（西2—403）座長：須藤修（東京大学）

「都道府県の環境基本計画策定に際してのパブリックコメントに関する一考察」

岩田元一（国立環境研究所）

「電子自治体投資が地域経済に及ぼす影響に関する実証研究」田中秀幸（東京大学）

「青少年公園のメディア・トポロジー ～「青少年健全育成」概念の変遷と愛知万博」

原田伸一郎（筑波大学）

II—6 地域情報システム部会④（西2—404）座長：森谷健（群馬大学）

「リアルタイムシミュレーションによる地域情報把握支援システム」

○宮川淳（大阪大学）、小郷直言（大阪大学）、加賀有津子（大阪大学）、福田知弘（大阪大学）

「地域環境活動の人的ネットワークの拡大を目指したコミュニティサイトの運営方法に関する研究」

○木村道徳（滋賀県立大学）、望月毅瑠（びわこ市民研究所）、井手慎司（滋賀県立大学）

- 「ブログポータルサイトにみる地域内連携」河井孝仁（東海大学）
- 7 インターネットとコミュニティ形成部会（西2—405）座長：小林宏一（早稲田大学）
- 「不安定就業者の情報共有」阿部真大（東京大学）
- 「市場と閉鎖的コミュニティ」木本玲一（関東学院大学）
- 「コンビニエンス・ストアにおける情報技術の力学」新雅史（東京大学）
- 8 情報・ガバナンス部会（西2—406）座長：佐藤佳弘（武蔵野大学）
- 「高齢社会における住宅の評価とその情報の市場への開示」
- 影山絵理奈（東京電力）、明野斉史（筑波大学）、杉浦綾子（緒方不動産鑑定事務所）
- 熊田禎宣（千葉商科大学）、佐藤哲也（静岡大学）、鈴木羽留香（立命館大学）
- 「多世代交流による公共空間づくりに効果的な環境情報発信プロセスの考察」
- 那須貴文（東京工業大学）、熊田禎宣（千葉商科大学）、熊澤輝一（東京工業大学）
- 吉田大悟（アスクプランニングセンター）、平塚健（千葉商科大学）
- 「日本と台湾の産業廃棄物処理政策における情報システムの活用に関する考察」
- 林敬三（名古屋産業大学）太田敏澄（電気通信大学）
- 自由報告部会（13：30～14：45）**
- 1 地域情報システム部会（西2—303）座長：五藤寿樹（日本橋学館大学）
- 「ICTを利用した住民参画システムの進化」古坂正人（東京大学）、武田みゆき（東京大学）
- 「CMSを活用した地域危機管理情報の収集・共有に関する検討」
- 後藤昌人（名古屋大学）、服部哲（神奈川工科大学）
- 安田孝美（名古屋大学）、横井茂樹（名古屋大学）
- 「CMSを活用した地域危機管理情報の収集・共有システムの試作」
- 服部哲（神奈川工科大学）、後藤昌人（名古屋大学）
- 安田孝美（名古屋大学）、横井茂樹（名古屋大）
- 2 地域情報システム部会（西2—304）座長：安藤明之（東京経済大学）
- 「自己組織化マップによる中国と日本の国内の地域間格差比較」金明旭（呉大学）、岡隆光（呉大学）
- 「市民によるインターネット放送局運営のための提案」
- 近藤真由（名古屋大学）、岩崎公弥子（金城学院大学）
- 安田孝美（名古屋大学）、横井茂樹（名古屋大学）
- 「地域における映像ソフト制作とその流通」増本貴士（神戸学院大学）
- 3 地域情報システム部会（西2—305）座長：炭谷晃男（大妻女子大学）
- 「地方公立大学と所在地域との相互関係について(第一報)」
- 住田友文（秋田県立大学）、嶋崎真仁（秋田県立大学）
- 「地方における知的公共財への潜在需要に関する研究」
- 嶋崎真仁（秋田県立大学）、住田友文（秋田県立大学）
- 「自治体ポータルサイトの全国動向と市民の利用実態に関する考察」
- 平本一雄（東京工科大学）、上野亮（東京工科大学）
- 益田樹忠（吉川水産株式会社）、神田章弘（ダイヤモンドコンピュータサービス株式会社）
- 4 地域情報システム部会（西2—306）座長：小菅敏夫（デジタルハリウッド大学）
- 「ICTを用いた住民参画ネットワークの発展」島田達巳（摂南大学）、東川輝久（摂南大学）
- 「CATV局からみた番組制作への市民・住民参加の意味・意義と課題」
- 内田康人（育英短期大学）、松本憲始（立正大学）
- 「CATV市民・住民制作番組における担い手の主体性について」
- 松本憲始（立正大学）、内田康人（育英短期大学）
- 5 情報・ガバナンス部会（西2—403）座長：前納弘武（大妻女子大学）
- 「自治体におけるGISクリアリングハウス構築」林隆史（会津大学）
- 「市町村合併と情報システム」藤本吉則（財団法人ふくしま自治研修センター）
- 「バランスト・スコアカード（BSC）導入による地域情報化の新展開」
- 増淵勝典（調布市生活文化部産業振興室）、福田豊（電気通信大学）
- 6 情報と文化部会（西2—404）座長：守弘仁志（熊本学園大学）

「日本の音楽ビジネスの制作組織に関する考察 -音楽ビジネス業界に見る柔軟な専門性」

加藤綾子 (東京大学)

「情報欲求とインターネット利用行動の分析」 中山満子 (大阪市立大学)

「Virtual Community の匿名性とセルフ・アイデンティティの変容」 森岡武史 (北海道大学)

III—7 情報と文化部会② (西2—405) 座長: 木村忠正 (東京大学)

「情報と文化の媒介項としての「世界観」に関する考察」 青柳彰 (電気通信大学)

「写真メディアの遊戯性に関する一考察」 加藤裕康 (東京経済大学)

「インターネットによる世論形成の可能性～人権擁護法案に対するムーブメントを事例として～」

山内要宗 (群馬大学)

III—8 コミュニケーション部会③ (西2—406) 座長: 中井豊 (芝浦工業大学)

「情報取得時における情報メディアの使い分けの構造モデルに関する基礎的研究」

山口直人 (新潟国際情報大学)、小野陽子 (新潟国際情報大学)

「ソシオ・メディア論に基づくデジタルコミュニケーション・ツールの開発」

土屋祐子 (慶應義塾大学)、大久保成 (慶應義塾大学)、遠山緑生 (慶應義塾大学)

「リッチメディア vs ITグループウェアの有効性をめぐる試論」 大江宏子 (郵政総合研究所)

## ☆ 平成18年度総会報告 ☆

日 時 平成18年9月12日(火) 12:00~12:30  
会 場 学習院大学創立百周年記念会館小講堂

## [開催次第]

司会 福田豊企画委員会委員長

- 1 会長挨拶  
遠藤敏澄会長より、開会挨拶。
- 2 議長の選出  
定款31条により、遠藤会長が議長となる。
- 3 総会の成立  
福田企画委員長より、定款第33条にもとづき、正会員数436名のうち出席会員40名、委任状提出会員77名であり、正会員の1/4を超えているとの報告により、本総会は成立した。
- 4 議事  
審議にあたり、書記(佐藤佳弘氏)、議事録署名人(安藤明之氏、中井豊氏)を指名され承認された。

下記の各議案につき、議長、各委員長、事務局より報告と提議がなされ、原案通り承認した。

第1号議案 平成18年度 事業報告

第2号議案 平成18年度 収支決算(仮)

第3号議案 平成19年度事業計画(案)

第4号議案 定款第47条会計年度変更の審議

第5号議案 定款第10条改定の審議

第6号議案 平成19年度 収支予算(案)

その他学会運営に関する事項

<平成18年度学会賞の表彰の実施>

\* 表彰者および内容は、本学会通信へ別記してあります。

<平成18年度総会資料>

\* HPに公開しています。

## 【第1号議案 平成18年度事業報告】

[総務委員会所管] (委員長 須藤 修)

## ○ 委員会構成

委員長：須藤 修 (東京大学)

委員：順不同

後藤玲子 (茨城大学)

富山慶典 (群馬大学)

前田隆正 (「あすのまち・三鷹」推進協議会)

榊 俊吾 (東京工科大学)

渡辺慶和 (岩手県立大学)

和泉恵子 (事務局)

## 1. 総務委員会の開催

## ◆第1回総務委員会

日時 2月13日 (月) 18:20-19:50

会場 東京大学大学院情報学環本館10階応接室

出席者 5名 (敬称略・順不同) 須藤、前田、榊、後藤、和泉

- 議題
1. 会員休会の内規
  2. 年度移行について (現行の10月から4月への移行)
  3. 共催・後援・協賛の内規
  4. 外部団体からのHPリンクの内規
  5. 過年度未納会員への除名に関して
  6. 学会NPO法人化

## ◆第2回総務委員会

日時 平成18年4月28日 (金) 17:00-18:00

会場 学習院大学東2号館8階第1会議室

出席者 5名 (順不同・敬称略) 遠藤、須藤、榊、後藤、和泉

- 議事
1. HPリンク
  2. 協賛・後援依頼について
    3. NPO法人化
  4. 定例会議の企画、運営
    - ① 会員総会 1回 (9/12)
    - ② 理事会 6回 (11/7、1/23、3/17、4/28、7/21、8/23)
    - ③ 評議員会 1回 (9/12)

## 3. 学会通信の発行

3回発行 Vol.21-1 (12月1日) Vol.21-2 (4月1日) Vol.21-3 (8月1日)

## 4. ホームページ管理

掲載内容・仕組み、内容充実策検討、リンク等

\* 学会賞受賞者一覧掲載。

## 5. 財務管理

・ 会費の徴収 (未納者への督促強化)

・ 平成18年度収支決算

・ 平成19年度収支予算作成

\* 経費削減方策の検討による予算への反映

## 6. 会員管理 平成18年度会員増減 (\*8/末現在)

種類	入会	退会	
個人正会員	45	50	-5
団体正会員	0	6	-6
計	45	56	

## ・会員数推移

種 類	17年8月	18年8月	増減	備 考
個人正会員	411	401	-10	
団体正会員	40	35	-5	
計	451	436	-15	宛先不明28名は除外

## 7. 事務局体制の変更

常駐なし週2回ほど、メールでは常時対応とした。

[企画委員会所管] (委員長 福田 豊)

## ○委員会構成

委員長 福田 豊 (電気通信大学)

委 員 順不同

税所 哲郎 (関東学院大学)

河又 貴洋 (長崎シーボルト大学)

国島 義明 (富士通総研)

安藤 明之 (東京経済大学)

佐藤 佳弘 (武蔵野大学)

増渕 勝典 (調布市)

## ◆第1回企画委員会

日 時 1月19日(木)19:00-20:33

会 場 電気通信大学西6号館511号

出 席 5名 福田、佐藤、国島、安藤、増渕

議 題

1 定例研究会企画運営方針

2 運営担当・割り当て

## ● 第101回定例研究会

日 時 平成18年4月28日(金) 15:30~17:00

会 場 電気通信大学スカイオフィス

テーマ 「地域情報化にシニア参加の道~その経験から仕組みと展望を考える」

講 師 堀池喜一郎 (シニアSOHO普及サロン三鷹 顧問)

## ● 第102回定例研究会

日 時 平成18年5月20日(土) 13:30-17:00

会 場 県立長崎シーボルト大学

テーマ 情報通信技術が築くプライバシーとセキュリティ

—安全と管理の狭間でゆれるリスク社会—

基調講演1 「情報セキュリティ文化の普及と人材育成」辻井 重男 (情報セキュリティ大学院大学)

基調講演2 「情報社会の人権と倫理」松井 修視 (関西大学)

パネル・ディスカッション「情報経済社会における安全・安心と信用・信頼」

コーディネーター 河又貴洋 (県立長崎シーボルト大学)

パネリスト 辻井重男 (情報セキュリティ大学院大学)

松井修視 (関西大学)

財部忠夫 (中村学園大学)

## ● 第103回定例研究会

日 時 平成18年6月10日(土) 13:00-16:30

会 場 大阪大学コンベンションセンター(吹田) 会議室1

テーマ 情報経済のパラダイムシフト

— 一次世代社会経済システムを担う主体とは —

研究発表1 「インターネット時代の市民社会ガバナンス」

— カリフォルニア：NPO型ベンチャー型モデル —

岡部 一明(東邦学園大学)

研究発表2 「これからの豊かさ」とは何か—21世紀の科学技術と社会はどのような—

佐和 隆光(京都大学)

シンポジウム「情報経済のパラダイムシフト

— 一次世代社会経済システムを担う主体とは —

コーディネーター 福田 豊(電気通信大学)

パネリスト 佐和隆光(京都大学) 岡部一明(東邦学園大学)

篠原 健(追手門学院大学)

## ● 第104回定例研究会

日 時 7月15日(土) 12:30-17:30

会 場 株式会社富士通総研5階大会議室

テーマ 「安心・安全と医療情報とセキュリティ」

研究発表1 「医療分野におけるICTの利活用」

副島 一則(総務省情報通信政策局情報流通振興課情報流通高度化推進室長)

研究発表2 「がん患者への情報提供について」

埴岡 健一(日経メディカル編集委員・東京大学医療政策人材養成講座特任助教授)

研究発表3 「保健・医療・福祉情報セキュアネットワーク基盤普及促進コンソーシアム(HEASNET)」

御魚谷 武(HEASNET事務局長)

研究発表4 「医療の本質を踏まえた上でのセキュリティ対策」

山本 隆一(東京大学大学院情報学環助教授)

研究発表5 「全国版医療情報センター(Super Dolphin)について」

吉原 博幸(京都大学大学院医学研究科教授)

研究発表6 「IT社会におけるわが国の代替医療情報」

中村 直行(統合医療福祉研究機構 中村直行研究室 代表)

研究発表7 「医療安全のコストとエビデンス」

林田 賢史(京都大学大学院医学研究科医療経済学分野 特任助手)

パネルディスカッション

テーマ 「安心・安全と医療情報とセキュリティ」

コーディネーター

阿曾 昭 元博(特定非営利活動法人東京地域チーム医療推進協議会・国際医療福祉大

学教授)

パネリスト 研究発表者各位

## ● [特別企画]国際シンポジウム

平成18年度文部科学省科学研究費補助金(研究成果公開促進費)補助事業

テーマ コミュニティ資源の形成とICT—意思としてのコミュニティ形成—

日 時 平成18年12月23日(土) 14:00-17:00

会 場 東京国際フォーラム Dホール

主 催 日本社会情報学会(JASI)

定 員 100名

締切日 12月16日(土)

参加費 無料

申込・問合せ 日本社会情報学会事務局まで、氏名・所属、連絡先を明記のうえe-mailまたはファックスでお申し込みください。

同時通訳受信機（当日希望者へ無料貸与）を不要の場合にはお知らせください。

e-mail: jasi@jade.dti.ne.jp FAX: 0422-40-2062

受付の返信につきましては、定員が超過し、お断りする時のみご連絡します。

#### プログラム

14:00 会長挨拶 遠藤 薫（学習院大学）

14:05 基調講演

Steve Johnson（米国ポートランド州立大学）

Engaging Citizens and building Social Capital: The Exceptional Civic Story of Portland Oregon and the Role of Information Technology

14:50 休憩

15:00 シンポジウム

-17:00 パネリスト

Steve Johnson、岡部一明（東邦学園大学）、福田豊（電気通信大学）

コーディネーター 須藤修（東京大学）

#### ◆ 情報政策研究会の実施報告（情報政策研究会 前田隆正）

##### ○メンバー構成

主査 前田隆正（三鷹市）

委員 上田まゆみ（NTTデータクリエイション）

梅原寿夫（東洋オフィスメーション）

加藤 茂（セコムトラストネット）

佐藤文一（東北通信建設）

茶谷達雄（都市情報システム研究所）

平林幹朗（キャリアアップ企画）

藤田弥生（NTTデータ）

山本秀男（一橋大学大学院）

吉井史郎（千葉県情報サービス産業協会）

尾関敬二（特別区職員研修所）

##### ○第1回会合

日時 平成17年2月3日（金）17:00-19:00

会場 三鷹ネットワーク大学 研修室（三鷹駅前協同ビル3階）

出席者 6名（敬称略・順不同）前田、茶谷、山本、加藤、藤田、平林

##### 議題

1. 前年度のレビュー（反省課題から対策へ）
2. 今後の計画について提案と討議
3. 今後の研究会企画（案）

##### ○第2回会合

日時 18.6.16（金） 16時30分～18時

会場 三鷹産業プラザ地下1階（コミュニティビジネスサロン・会議室）

出席者 6名（敬称略・順不同）前田、茶谷、佐藤、吉井、尾関、平林

##### 議題

1. 第3回研究会の運営について
2. 第4回研究会企画について
3. 次年度の研究会についての意見交換
4. 全国大会について



## ○情報政策研究会

[第44回] 日 時： 平成17年12月5日(月) 15:00~17:00

会 場： 中央大学駿河台記念館320号室

テーマ 「自治体CIOの近況報告」

パネリスト 井堀幹夫(市川市) 茶谷達雄(都市情報システム研究所)  
前田隆正(「あすのまち三鷹」推進協議会)

コーディネータ 平林幹朗(キャリア・アップ企画)

\*情報交流会 同館 「プリアール」

[第45回] 日 時： 平成18年5月19日(金) 15:00-17:00

会 場： 電気通信大学スカイオフィス

講 師： 藤井亮輔

- ・経済産業省商務情報政策局情報政策課 課長補佐
- ・内閣官房情報通信技術(IT)担当室電子政府推進管理室主査
- ・総務省行政管理局行政情報システム企画課 総務事務官

テーマ： 「平成18年度経済産業省情報化関連施策の概要と  
情報システムに係わる政府調達について」

[第46回] 日 時： 平成18年7月26日(水) 15:00-17:15

会 場： (株)シマンテック東京本社会議室(赤坂インターシティ9階)

テーマ： 「企業における情報セキュリティの課題と今後の動向」

講 師： 木村裕之(株)シマンテック代表取締役社長)

[学術委員会所管] (委員長 廣松 毅)

1. 組織体制

学術委員会委員長：廣松 毅(東京大学)

副委員長：刀川 眞(㈱NTTデータ) 田中秀幸(東京大学)

学術委員会委員：赤堀侃司(東京工業大学) 阿部昭博(岩手県立大学)

アイウエオ順 安藤明之(東京経済大学) 和泉 潤(名古屋産業大学)

遠藤 薫(学習院大学) 太田敏澄(電気通信大学)

岡田 勇(創価大学) 兼田敏之(名古屋工業大学)

木村忠正(東京大学) 熊田禎宣(千葉商科大学)

小菅敏夫(デジタルハリウッド大学)

小林宏一(早稲田大学) 五藤寿樹(日本橋学館大学)

櫻井成一朗(明治学院大学) 佐藤佳弘(武蔵野大学)

島田達巳(摂南大学) 須藤 修(東京大学)

田中秀幸(東京大学) 寺野隆雄(東京工業大学)

富山慶典(群馬大学) 中井 豊(芝浦工業大学)

中嶋聞多(信州大学) 新川達郎(同志社大学)

根本敏則(一橋大学) 水鉋揚四郎(筑波大学)

福田 豊(電気通信大学) 増田祐司(島根県立大学)

松川淳子(生活構造研究所) 山本佳世子(名古屋産業大学)

■学会誌編集専門委員会

学会誌編集専門委員会委員長：五藤寿樹(日本橋学館大学)

副委員長：岡田 勇(創価大学)

学会誌編集専門委員会委員：

安藤明之(東京経済大学) 遠藤 薫(学習院大学)

太田敏澄(電気通信大学) 兼田敏之(名古屋工業大学)

木村忠正 (東京大学)	小菅敏夫 (テンプル大学)
小林宏一 (早稲田大学)	櫻井成一朗 (明治学院大学)
佐藤佳弘 (武蔵野大学)	
刀川 眞 (㈱NTTデータ)	田中秀幸 (東京大学)
寺野隆雄 (東京工業大学)	中井 豊 (芝浦工業大学)
中嶋聞多 (信州大学)	根本敏則 (一橋大学)
廣松 毅 (東京大学)	福田 豊 (電気通信大学)
藤原博彦 (明治大学)	

#### ■研究促進専門委員会

研究促進専門委員会委員長：増田祐司 副委員長：佐藤佳弘  
 研究促進専門委員会委員：全員昨年度からの継続。必要に応じて適宜追加

#### ■優秀文献選考委員会

優秀文献選考委員会委員長：小林宏一 副委員長：田中秀幸  
 優秀文献選考委員会委員：全員昨年度からの継続。必要に応じて適宜追加

### 2. 学術委員会開催

#### [1]第1回学術委員会

日時 平成17年 7月29日 (金) 17:00-18:00  
 会場 電気通信大学P棟517号室  
 出席者 10名  
 安藤、遠藤、岡田、五藤、小林、桜井、佐藤、刀川、中井、廣松  
 議題 1 学会発表データベースの移行について  
 2 学会ホームページの整備について  
 3 全国大会について  
 4 表彰関連

#### [2]第2回学術委員会

日時 平成17年10月11日 (火) 18:15-18:35  
 会場 東京大学駒場キャンパス2号館3階306号室  
 出席者 10名  
 安藤、遠藤、岡田、五藤、小林、桜井、佐藤、刀川、中井、廣松  
 議題 1 学会発表データベースの移行について  
 2 学会ホームページの整備について  
 3 全国大会について  
 4 表彰関連

#### [3]第3回学術委員会

日時 平成18年1月16日 (月) 18:15-18:40  
 会場 東京大学駒場キャンパス2号館3階306号室  
 出席者 9名  
 安藤、遠藤、岡田、五藤、桜井、佐藤、刀川、田中、廣松  
 議題 1 学会発表データベースの移行について  
 2 学会ホームページの整備について  
 3 全国大会について  
 4 表彰関連

#### [4]第4回学術委員会

日時 平成18年2月27日 (月) 17:10-17:30  
 会場 東京大学駒場キャンパス2号館3階306号室  
 出席者 10名  
 安藤、遠藤、岡田、五藤、小林、佐藤、刀川、田中、中井、廣松  
 議題 1 学会発表データベースの移行について  
 2 学会ホームページの整備について

3 全国大会について

4 表彰関連

[5]第5回学術委員会

日時 平成18年5月9日(火) 18:10-19:40

会場 東京大学駒場キャンパス2号館3階306号室

出席者 9名

遠藤、岡田、五藤、小林、佐藤、田中、木村、桜井、廣松

議題 1 学会発表データベースの移行について

2 学会ホームページの整備について

3 全国大会について

4 論文賞審査担当者の割り振り

[6]第6回学術委員会

日時 平成18年6月20日(火) 18:10-19:20

会場 東京大学駒場キャンパス2号館3階306号室

出席者 10名

安藤、遠藤、岡田、木村、五藤、小林、桜井、佐藤、田中、廣松

議題 1 論文賞審査

[7]第7回学術委員会

日時 平成18年8月1日(火) 10:00-

会場 東京大学駒場キャンパス2号館3階306号室

出席者 11名

安藤、遠藤、岡田、木村、五藤、小林、桜井、佐藤、田中、廣松、中井豊

議題 1 大会関連

2 論文賞審査

3. 学会誌発行状況

＃18-1 2006年3月発行   ＃18-2 2006年9月発行

4. 投稿論文数   ・学術論文：19件(8月14日現在)

5. 採択論文数

・学術論文：8件(過去1年間の状況) (採択率42%)

6. 学位論文賞、論文奨励賞

○学位論文賞：博士論文

・論文賞 該当なし

・奨励賞 該当なし

○学位論文賞：修士論文

・論文賞

藤原正弘(東京大学)

プラットフォーム戦略とイノベーション：第3世代携帯電話の事例研究

・奨励賞

何穎(東京大学)

中国放送産業のアーキテクチャに関する考察：機能と組織体のダイナミズムを中心に

石田芳文(電気通信大学)

スケールフリーネットワークにおける協調関係の安定に関する研究

○優秀論文賞 該当なし

○優秀文献賞

名和小太郎『情報の私有・共有・公有』(NTT出版)

○論文奨励賞

梅原英一(榊野村総研)

リスク情報開示ゲームの提案—行政のリスク情報開示と住民の満足化に関するゲーム理論による

## 分析

諏訪博彦（電気通信大学）

環境配慮行動を促す環境教育プログラム開発のためのパスモデルの構築

7. 研究部会 環境情報研究部会、複合情報環境研究部会、I S A C研究部会  
情報社会経済システム研究部会

8. 内規の整備

9. HPの整備

10. その他企画事業

- ・2006年度学会大会にあわせてチュートリアルを開催（担当：岡田）

〔表彰委員会所管〕（委員長 小菅敏夫）

## ○委員会構成

委員長 小菅敏夫（電気通信大学）

副委員長 北村歳治（早稲田大学）

委員 順不同

小林宏一（早稲田大学）

前田隆正（「あすのまち三鷹」推進協議会）

太田敏澄（電気通信大学）

## ○表彰委員会

日時：2006年8月11日（金）18:00-19:50

場所：デジタルハリウッド大学会議室

出席者：7名

小菅、北村、小林、前田、太田、遠藤、和泉、

## 協議事項

1. 平成18年度学会各賞の選考

(1) 学会功労賞 該当者なし

(2) 社会情報システム賞候補

・ ㈱エヌ・ティ・ティ・ドコモ

・ 4団体

長岡市

千代田区

財団法人まちみらい千代田

特定非営利活動法人ながおか生活情報交流ねっと

(3) 優秀文献賞

名和小太郎

(4) 優秀論文賞 該当者なし

(5) 論文奨励賞

・ 梅原英一（㈱野村総研）

リスク情報開示ゲームの提案—行政のリスク情報開示と住民の満足化に関するゲーム理論による  
分析

・ 諏訪博彦（電気通信大学）

環境配慮行動を促す環境教育プログラム開発のためのパスモデルの構築

(6) 大学院学位論文賞

(学位論文賞：博士論文)

・ 論文賞 該当者なし

・ 奨励賞 該当者なし

(学位論文賞：修士論文)

・ 論文賞

藤原正弘 (東京大学)

プラットフォーム戦略とイノベーション：第3世代携帯電話の事例研究

・奨励賞

何穎 (東京大学)

中国放送産業のアーキテクチャに関する考察：機能と組織体のダイナミズムを中心に

石田芳文 (電気通信大学)

スケールフリーネットワークにおける協調関係の安定に関する研究

(7) 日本社会情報学会・秋山穰賞 該当者なし

(8) 研究発表賞 \*第20回全国大会研究発表者から選考

諏訪博彦 (電気通信大学) ・山本仁志 (立正大学)

岡田勇 (創価大学) ・太田敏澄 (電気通信大学)

「環境問題解決のための環境教育に関する調査研究」

\* 学会賞受賞者一覧をホームページへ掲載

【第2号議案 平成18年度収支決算】

(自 平成17年10月1日 至 平成18年9月30日)

収入の部

	科目	18年度予算	18年度実績	対予算
	正会員会費			
1	個人会員	3,259,750	3,483,000	223,250
2	団体会員	2,250,000	2,150,000	-100,000
	(会費計)	5,509,750	5,633,000	123,250
3	雑収入	300,000	226,688	-73,312
	収入合計	5,809,750	5,859,688	49,938
	前年度繰越	399,718	399,718	0
	合計	6,209,468	6,259,406	49,938

支出の部

1	学会誌印刷費	1,000,000	755,475	244,525
2	研究会開催費	600,000	335,037	264,963
3	全国大会補助金	150,000	150,000	0
4	分科会補助金	200,000	250,000	-50,000
5	学会賞作成費	150,000	140,000	10,000
6	会員名簿作成費	100,000	0	100,000
7	通信費	500,000	504,292	-4,292
8	印刷費	900,000	419,997	480,003
9	事務費(住居費)	300,000	300,000	0
10	事務管理費	1,260,000	1,260,000	0
11	備品費	100,000	0	100,000
12	会議費	50,000	64,889	-14,889
13	消耗品費	150,000	152,351	-2,351
14	雑費	70,000	203,670	-133,670
15	支部補助金	150,000	150,000	0
16	予備費	100,000	101,925	-1,925
	支出合計	5,780,000	4,787,636	992,364
	次年度繰越金	429,468	1,471,770	
	合計	6,209,468	6,259,406	

*次年度繰越金	みずほ銀行	三鷹駅前郵便局
	666,049	805,721

この平成18年度の収支決算について、監査の結果、正確であることを証する。

平成18年 月 日

監査人 田村 紀雄

監査人 尾関 敬二

**【第3号議案 平成19年度事業計画】**

**【総務委員会所管】**

**[1]総務委員会構成**

10月末までに、下記の業務分担ごとに構成する。

	主たる担当業務	備考
委員長	全体統括・行事調整	
副委員長	会議体運営、対外折衝、会員増強	
委員	財務関係、予算決算	
	会計、会費、会員管理、行事通知、規則、事務局	
	事務局補助(会計、行事通知、学会通信)	
	全国大会関係	
	全国大会関係(開催校)	
	HP管理、普及活動	
	HP作成・メンテナンス	
	委員長事務、委員会事務	

\* 必要に応じ、委員を追加する。

\* 主要会議体(理事会、評議員会、総会)の運営については、理事会への提案による決定にもとづき役割を分担し実施する。

**[2] 事業・業務内容**

1. 運営 \*総務委員会の開催(年間2回以上)
  - ①総務委員会は、学会事務局内へ置く
  - ②各委員会、各支部との連携による運営
2. 主要会議の開催業務  
(業務:通知文、通知、出欠、資料、議事録、会場確保・設営)
  - ①理事会  
\*各委員会からの議題・報告の事前確認
  - ②常任理事会(随時)
  - ③評議員会(年1回:9月)
  - ④会員総会(全国大会開催日の初日) \*8月開催理事会にて、議案決定
3. 諸規則の整備
  - ①規則集の作成と関係役員への配布
  - ②主要規則のホームページへの掲載(依頼)
4. 学会通信の発刊(年3回:12月、4月、8月)
5. 財務管理(予算・決算)
  - ①平成19年度収支決算(月度決算)  
\*徹底した収支管理をしていく。  
\*各種通知業務の効率化(メールでの通知の徹底を図る)
  - ②平成20年度収支予算案の作成(理事会へ提案)
6. 会費の徴収(予算・決算)
  - ①平成19年度・会費の請求(10月)
  - ②未納者への督促・再請求(12月、2月、4月、8月)
  - ③未納者への対応 \*サービス停止・除名等を会員へ周知する。
7. 会員管理(既存会員・新入会員、退会会員)
  - ①会員の確認(会員種別:個人正会員、団体正会員)
  - ②会員管理業務の電子化による正確性と対応の迅速化
  - ③HPへのダウンロード可能対応
  - ④会員増強策
8. ホームページへの全体管理、運営
9. その他

## [企画委員会所管]

## 1. 委員会開催

## (1) 方針

各研究会の担当（委員構成）明確化による運営

## (2) 審議事項

①研究会の活性化について

②年間スケジュール

③各研究会の企画立案

テーマ・形式 講師の折衝（依頼状、発表方法、配付資料）会場案内方法

④当日の運営と報告書作成について

## (3) 日程

未定

## 2. 事業内容

(1) 定例研究会企画実施（年間5回）

(2) 情報政策研究会（年間4回）

(3) 第22回全国大会の開催

(4) その他

①大学院生対象の定例研究会設置について（継続）

②外部に対する普及活動

・各種研究会等の開催スケジュールをホームページで公開

・他学会主催研究会等への参画（後援・共催・協賛等）

③定例研究会の内容見直し（継続）

・研究アクティビティ支援のための定例研究会という性格を強化する

・テーマ設定についての工夫

・会員の学術研究発表の場を作る（継続）

## [情報政策研究会]

情報化社会全般の課題解決に向け、この情報政策研究会は、政府が進める情報化施策を把握し、情報化社会の進展への諸課題を検討する研究会を企画する。

## ・ 取上げるテーマ

主要省庁の主要施策研究、政府施策の実践的事例（自治体・企業の展開事例）研究を主要テーマとする。

(テーマ候補項目案) u-J a p a n、E A、セキュリティ、環境・・・/各分野

2007年問題（定例研究会等と合同開催）/厚生労働省

\*学会方針をベースに検討し、主要省庁の関係部門に折衝。

・開催予定 年間4回開催予定。 \*定例研究会の開催内容勘案

・参加対象 団体正会員をおよび関係個人正会員

\*テーマにより、個人会員および非会員の参加も検討

\*開催内容等により、参加費の徴収も検討

※以上の骨子内容にて、部会で実施策を検討し理事会へ提案する。

○ 第47回情報政策研究会・情報交流会（予定）

日 時 12月4日（月）15:00

会 場 未定

## [学術委員会所管]



- [1] 学術委員会の開催 \*年5回以上開催する
- [2] 構成 委員長、副委員長、委員
  - ・学術委員会のもとに以下の専門委員会をおく
    - 1. 編集専門委員会
    - 2. 文献論文選考委員会
    - 3. 研究促進委員会
- [3] 事業・業務内容
  - 1. 学会誌の発行
    - 年2回の刊行を定常化し、さらに英文誌を発行する。
  - 2. 学会誌の構成に関する検討
    - 多様なジャンルを検討する。
  - 3. 優秀文献の選考
    - 全国大会における研究発表賞の審査を行う。
    - 学位論文賞の選考
    - 優秀論文賞の選考
    - 優秀文献賞の選考
  - 4. 研究部会
    - 平成19年度は以下の研究部会が継続中である。
    - 情報社会経済システム研究部会（主査 福田豊）
  - 5. 学会発表データベースの移行
    - さらに学会員へのサービス向上が期待される。
  - 6. 横断型基幹科学技術研究団体連合への参加
  - 7. 学術委員会主催のチュートリアル・シンポジウムの開催

#### [表彰委員会所管]

前年度、表彰推薦について表彰該当なしの分野があること、又推薦数が少ないことから会員への周知の方法や広範囲の方々からの推薦依頼をする策を図る。

秋山賞については対象を拡大する方向とし、学位論文賞についても推薦数を増やす策を図る。

また、HPの有効活用にも努力する。

- 1. 事業内容
  - 平成19年度の学会賞について、表彰に関する諸規程に基づき、事業の活性化を図りながら次の表彰事業を実施する。
    - ①学会功労賞
    - ②優秀文献賞
    - ③優秀論文賞
    - ④論文奨励賞
    - ⑤大学院学位論文賞
    - ⑥社会情報システム貢献賞
    - ⑦日本社会情報学会・秋山穰賞
    - ⑧研究発表賞
- 2. 運営専門委員会
  - 次の専門委員会を設置して行う。
    - ①功労選考委員会（学会功労賞および社会情報システム貢献賞）
    - ②文献論文選考委員会（優秀文献賞、優秀論文賞、論文奨励賞、大学院学位論文賞、および研究発表賞）
    - ③秋山穰賞選考委員会
- 3. 事業日程等
  - ①表彰候補者の推薦
    - 推薦公募のお知らせは、学会通信への公示によりおこなう。
    - なお、研究発表賞は、全国大会の研究発表の中から選考する。
  - ②表彰の実施
    - 全国大会の会員総会において行う。

**【第4号議案 会計年度変更の審議】**

＜改定内容＞

定款第47条（会計年度）

「本会の会計年度は、毎年10月1日に始まり、翌年9月末日に終わる。」を

「本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月末日に終わる。」に改定する。

＜改定理由＞

大学、官庁等と会計年度が異り、科研費補助事業をはじめ、諸事業に不具合を生じるため。

上記に伴い、下記を特別決議とする。

- 1 平成19年度は平成18年10月1日に始まり、平成20年3月31日に終わる。
- 2 19年度の会費については、特別な措置として個人正会員年会費を1年半分とする。  
個人会員会費は15,000円、減額会員会費7,500円とする。  
団体会員においては、会費一口は50,000円に据え置く。
- 3 現理事および監事の任期を半年間延長し、平成20年3月末までとし、19年度選出評議員の任期は平成18年10月より、21年3月末までとする。

**【第5号議案 定款第10条の審議】**

＜改定内容＞

定款第10条（会員資格の喪失）

本会の会員は、以下のいずれかの事由によりその資格を喪失する。

- (3) 禁治産者、準禁治産の宣告を
- (3) 成年被後見人、被保佐人の宣告と改定する。

＜改定理由＞

禁治産者制度廃止のため。

【第6号議案 平成19年度収支予算】

(自 平成18年10月1日 至 平成20年3月31日)

収入の部

	科目	19年度予算	18年度実績	備考
	正会員会費			
1	個人会員	4,743,000	3,483,000	(56X7,500X0.85+344X15,000X0.85)
2	団体会員	1,600,000	2,150,000	32社X50,000
	(会費計)	6,343,000	5,633,000	
3	雑収入	300,000	226,688	
	収入合計	6,643,000	5,859,688	
	前年度繰越	1,471,770	399,718	
	合計	8,114,770	6,259,406	

支出の部

1	学会誌印刷費	2,000,000	755,475	学会誌19-1,19-2,19-3 英文学会誌
2	研究会開催費	500,000	335,037	
3	全国大会補助金	150,000	150,000	
4	分科会補助金	325,000	250,000	
5	学会賞作成費	150,000	140,000	
6	会員名簿作成費	100,000	0	
7	通信費	600,000	504,292	
8	印刷費	700,000	419,997	
9	事務費(住居費)	600,000	300,000	
10	事務管理費	1,890,000	1,260,000	
11	備品費	100,000	0	
12	会議費	100,000	64,889	
13	消耗品費	200,000	152,351	
14	雑費	150,000	203,670	
15	支部補助金	225,000	150,000	
16	予備費	150,000	101,925	
	支出合計	7,940,000	4,787,636	
	次年度繰越金	174,770	1,471,770	
	合計	8,114,770	6,259,406	

## 【日本社会情報学会 平成18年度学会賞】

### ☆日本社会情報学会 平成18年度・社会情報システム貢献賞（団体）

長岡市（市長 森 民夫）

千代田区（区長 石川 雅己）

財団法人まちみらい千代田（理事長 長田貴雄）

特定非営利活動法人ながおか生活情報交流ねっと（理事長 桑原眞二）

#### [表彰事由]

4団体では、平成17年度から地域SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)を立ち上げ、地域住民がコミュニティの再生や自治体における政策形成のプロセスに参画出来るよう、行政と中間組織が一体となり、実社会の場を含めて活動を進めています。又両地域間の連携も進め、SNS間の連携はもとより、地域振興プロジェクト等で、ICTを活用した新たな地域間連携のあり方を提示しています。両地域の今後の活動の進展に大きな関心と期待が出来ます。

以上、貴団体のIT施策による電子行政を推進した取り組みと社会情報システムへの貢献に対して深い敬意を表し、ここに日本社会情報学会・社会情報システム貢献賞（団体）を贈り表彰します。

### ☆日本社会情報学会 平成18年度・社会情報システム貢献賞（団体）

株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ（代表取締役社長 中村維夫）

#### [表彰事由]

NTTドコモは、リアルタイム・マネジメントに挑戦し全社の業務を統合した基幹情報システム「DREAMS」を稼動しました。現場で起こっているあらゆることをリアルタイムに情報システム上で完結させスピード経営を確立し、業務の効率化や業務品質の向上、経営をガラス張りにすることに大きな成果を上げ、更に「DREAMS」は新会社法（日本版SOX法）成立に伴うNTTドコモの内部監査の効率化と内部統制の強化整備に大きく寄与しています。このリアルタイム・マネジメント・システムは、どの企業にも必要であり、NTTドコモにおける実績は、今後日本国内はもとより国際的にも企業のモデルとして評価されるものです。

以上、貴団体のIT施策による取り組みと社会情報システムへの貢献に対して深い敬意を表し、ここに日本社会情報学会・社会情報システム貢献賞（団体）を贈り表彰します。

### ☆日本社会情報学会・優秀文献賞

名和小太郎（情報セキュリティ大学院大学特別研究員）

#### 『情報の私有・共有・公有』（NTT出版）

#### [表彰事由]

新しいメディア技術の到来を背景として構造的な変容を迫られている著作権制度の在り方に対し、長年にわたり「ユーザーの立場」からの発言を続けてきた受賞者は、表記著作において、「著作権制度のアーキテクチャをちょっと変えれば、権利者の利益を損じることなく、ユーザーが自由にコピーできる環境」としての「ほどよいcommons」を提唱しているが、このような示唆的な主張は、『変わりゆく情報基盤』（2000年）、『学術情報と知的所有権』（2002年）、『デジタル著作権』（2004年）といった先立つ諸著作で展開された見解から導出されたものといえ、こうした受賞者の旺盛かつ豊穡な一連の著作活動は、本賞にふさわしいとして審査員の一致した評価を得た。

### ☆日本社会情報学会・論文奨励賞

梅原英一（株式会社野村総合研究所）

論文標題「リスク情報開示ゲームの提案－行政のリスク情報開示と住民の満足化に関するゲーム理論による分析」

#### [表彰事由]

本論文は、迷惑施設や原子力施設の継続的運用や設置に伴って行われている、行政から住民に対するリスク情報開示の在り方をゲーム理論の観点から検討し、情報の非対称性や情報保有度などの情報ギャップからその実を十分上げ得ない従来の一方的な情報開示手法に代わって、第三者機関の活動を前提とした行政と住民との情報開示ゲームとして定式化することの必要性を論証した論考で、明快な立論のもとで、リスクコミュニケーションの制度設計のひとつの基礎を提案している点が高く評価された。

☆日本社会情報学会・論文奨励賞

諏訪博彦（電気通信大学）

論文標題「環境配慮行動を促す環境教育プログラム開発のためのパスモデルの構築」

[表彰事由]

本論文は、持続可能な社会の実現に寄与する環境教育において、環境に対する態度変容をこえて、さらに環境配慮行動を動機づける効果的な教育プログラムを開発することを念頭においたうえで、「環境配慮態度」と「環境配慮行動」との相関をアンケート調査手法により探り、関心・動機・行動のパスモデルを提示するなかから、意識的環境配慮行動の規定要因として費用負担意志の重要性を抽出した論考で、環境教育に貢献する内容を提示し、社会的な意義も十分備えている点が高く評価された。

☆日本社会情報学会・学位論文賞（修士論文・論文賞）

藤原正弘（東京大学）

論文標題「プラットフォーム戦略とイノベーション:第3世代携帯電話の事例研究」

[表彰事由]

本論文は、急速な発展を遂げてきた日本の携帯電話事業を事例としつつ、プラットフォーム企業によるプラットフォーム機能の拡張、それをふまえた補完材提供者による多様な補完材の展開によって達成されてきた需要の拡大サイクルを、関連先行研究をふまえつつ、「重層的プラットフォーム戦略」として解明することを目指した論考で、独自性を有する研究テーマに関し、周到な実証作業で裏打ちされ、かつ堅実な理論構成を持つ論文にまとめ上げられている点が高く評価された。

☆日本社会情報学会・学位論文賞（修士論文・奨励賞）

何穎（東京大学）

論文標題「中国放送産業のアーキテクチャに関する考察：機能と組織体のダイナミズムを中心に」

[表彰事由]

本論文は、現代中国における放送産業の変容メカニズムを、モジュールとインテグラルを軸とするアーキテクチャ論に依拠しつつ分析し、国家主導のメディア政策と深まる市場化動向との拮抗関係のもとで、同国の放送産業が、多様なアーキテクチャを内包した構造へと変容していることを、伝送および番組制作の二領域において明らかにした論考として、着実な事例収集活動をふまえ、中国固有の文化政策・放送政策の史的展開に関する的確な視点のもとでまとめ上げられている点が高く評価された。

☆日本社会情報学会・学位論文賞（修士論文・奨励賞）

石田芳文（電気通信大学）

論文標題「スケールフリーネットワークにおける協調関係の安定に関する研究」

[表彰事由]

本論文は、スケールフリーネットワーク構造のもとでの社会的協調関係の安定ないし崩壊のメカニズムをエージェント・ベースド・アプローチにより分析し、当該構造のもとでは、協調は達成されても脆弱で崩壊しやすいこと、また、その脆弱性は、ネットワーク内での接続次数の高いハブ・エージェントが、非協調に対し寛容になることに由来す

るとの結論を導き出した論考で、多角的な分析手法により、スケールフリーネットワークの特性を明確にしている点が高く評価された。

- ☆日本社会情報学会第19回全国大会研究発表優秀賞（平成17年9月12日発表）  
\* 諏訪博彦（電気通信大学）、山本仁志（電気通信大学）  
岡田勇（創価大学）、太田敏澄（電気通信大学）  
発表標題「環境問題解決のための環境教育に関する調査研究」

## ☆平成19年度・学会賞候補推薦について☆

平成19年度・学会各賞の推薦公募を別記内容にて行います。  
各表彰候補の推薦をお願い申し上げます。

日本社会情報学会表彰委員会  
委員長 小菅 敏夫

### <表彰候補者の推薦締め切り>

種 類	締 切 日	推薦要領掲載案内予定
大学院学位論文賞	19年4月13日(金)	学会通信 12/1、4/1 HP 2/末
優秀文献賞	19年5月25日(金)	学会通信 4/1 HP 2/末
優秀論文賞	同 上	学会通信 4/1 HP 2/末
論文奨励賞	同 上	学会通信 4/1 HP 2/末
学会功労賞	19年6月22日(金)	学会通信 4/1 HP 2/末
社会情報システム貢献賞	同 上	学会通信 4/1 HP 2/末
*「秋山穰賞」		別途選考要綱に基づく

\*「秋山穰賞」については、別途実施要綱による選考とする。

\*各賞の推薦要領については、別途、学会通信(2007.4.1発行)および  
学会ホームページに掲載致します。

☆今年度は、別記の通り、総会・全国大会の開催日が9月12,13,14日に  
予定されていますので、各賞推薦の締切日が早まっていますのでご留意  
下さい。

#### [功労選考委員会]

選考区分：  
・学会功労賞  
・社会情報システム貢献賞

#### [文献論文選考委員会]

選考区分：  
・優秀文献賞  
・優秀論文賞  
・論文奨励賞  
・大学院学位論文賞  
・研究発表賞

※各推薦書は、コピー(A4に拡大)してご利用下さい。  
また、本学会通信は、ホームページへ掲載しますので、各表彰  
候補推薦書は、ダウンロードして利用出来ます。

(2月中旬以降)

平成19年12月1日

## 日本社会情報学会

## 第10回大学院学位論文表彰候補者の推薦のお願い

日本社会情報学会  
会長 遠藤 薫

この度、日本社会情報学会では、表彰規則第2条第1項(5)に定める大学院学位論文賞につき、下記により、平成18年4月1日～平成19年3月31日までの期間におきます学位取得者の大学院学位論文につきましての表彰候補者のご推薦をお願いいたします。なお、本賞につきましては、社会情報学関連大学院ご担当の先生方にも、正会員となっていただくことを条件に、ご推薦の依頼を致しております。

なお、表彰区分は、日本社会情報学会大学院学位論文賞選考要領にもとづき、以下の通りといたします。

- (1) 修士論文・・・大学院学位論文賞（修士）
- (2) 課程博士論文・・・大学院学位論文賞（博士）
- (3) 論文博士論文・・・大学院学位論文賞（博士）

また、受賞者には、全国研究発表大会総会において、賞状を授与いたしますとともに、学会通信には、受賞者名、論文題目を、日本社会情報学会誌には、受賞者名、論文題目、学位論文要旨を、それぞれ掲載いたします。

## 記

- 1. 受付期限 平成19年4月13日（金）＊必着
- 2. 推薦先 日本社会情報学会 文献論文選考委員会  
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザ408  
日本社会情報学会事務局  
TEL/ FAX 0422-40-2062
- 3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、一件一部  
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます。)
- 4. 添付書類 学位論文四編（論文のコピーで結構です）  
同学位審査要旨四通  
(修士論文につき1000字程度、博士論文につき2000字程度)
- 5. 推薦者資格 本学会正会員（入会手続中の方も、ご推薦戴くことができます。  
この場合、理事会での入会承認を条件として、正会員のお取り扱いを致します。)

以上



### 表彰候補推薦書

下記の通り、日本社会情報学会表彰規則による大学院学位論文賞の表彰候補を推薦いたします。

[推薦者] (氏名) \_\_\_\_\_ 印  
(所属) \_\_\_\_\_  
(連絡先住所) 〒 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

TEL : \_\_\_\_\_ FAX : \_\_\_\_\_  
E-mail : \_\_\_\_\_

記

[推薦論文名] \_\_\_\_\_

[学位取得者氏名] \_\_\_\_\_

[学位授与研究科・専攻名]  
\_\_\_\_\_ 大学 \_\_\_\_\_ 研究科  
\_\_\_\_\_ 専攻

[推薦区分] ( ) 内に○印を付してお示し下さい。  
( ) 修士論文 ( ) 課程博士論文 ( ) 論文博士論文

[推薦事由]

[受付] 平成 年 月 日

受付者氏名

## ☆ 研究会報告 ☆

## [第47回情報政策研究会]

日 時 平成18年10月19日(木) 15:00~17:00  
会 場 (株)NTTドコモ  
テーマ リアルタイム・マネジメントの基幹情報システム「DREAMS」  
講 師 西川清二 (株)NTTドコモ執行役員・情報システム部長

## [第48回情報政策研究会]

日 時 平成18年12月4日(木) 15:00~17:00  
会 場 全国町村会館  
テーマ これからの地域情報化  
講 師 植松浩二 総務省情報通信政策局地方情報化推進室長

## [平成19年度 情報交流会]

日 時 平成18年12月4日(月) 17:00~19:00  
会 場 全国町村会館

## [特別企画 国際シンポジウム]

文部科学省平成18年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)

テーマ 「コミュニティ資源の形成とICT-意思としてのコミュニティ形成-」

日 時 平成18年12月23日(土) 14:00-17:00

会 場 東京国際フォーラム

講 演 スティーブ・ジョンソン(米国ポートランド州立大学)

シンポジウム

スティーブ・ジョンソン、岡部一明(東邦学園大学)、福田豊(電気通信大学)他

## ☆ 委員会報告 ☆

## [総務委員会]

## 1. 委員会構成

総務委員会委員長：須藤 修(東京大学)

総務委員会委員：順不同・敬称略

後藤玲子(茨城大学)

富山慶典(群馬大学)

前田隆正(NPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構)

榊 俊吾(東京工科大学)

渡辺慶和(岩手県立大学)

和泉恵子(事務局)

\*必要に応じ、委員を追加する。

\*主要会議体(理事会、評議員会、総会)の運営については、理事会への提案による決定にもとづき

役割を分担し実施する。

## [2] 事業・業務内容

1. 運営。 \*総務委員会の開催（年間2回以上）
  - ①総務委員会は、学会事務局内へ置く
  - ②各委員会、各支部との連携による運営
2. 主要会議の開催業務  
（業務：通知文、通知、出欠、資料、議事録、会場確保・設営）
  - ①理事会  
\*各委員会からの議題・報告の事前確認
  - ②常任理事会（随時）
  - ③評議員会（年1回）
  - ④会員総会
3. 諸規則の整備
  - ①規則集の作成と関係役員への配布
  - ②主要規則のホームページへの掲載（依頼）。
4. 学会通信の発刊（年3回：12月、4月、8月）
5. 財務管理（予算・決算）
  - ①平成19年度収支決算（月度決算）  
\*徹底した収支管理をしていく。  
\*各種通知業務の効率化（メールでの通知の徹底を図る）
  - ②平成20年度収支予算案の作成。（理事会へ提案）
6. 会費の徴収（予算・決算）
  - ①平成19年度・会費の請求（10月）
  - ②未納者への督促・再請求（12月、2月、4月、8月）
  - ③未納者への対応 \*サービス停止・除名等を会員へ周知する。
7. 会員管理（既存会員・新入会員、退会会員）
  - ①会員の確認（会員種別：個人正会員、団体正会員）
  - ②会員管理業務の電子化による正確性と対応の迅速化
  - ③HPへのダウンロード可能対応
  - ④会員増強策
8. ホームページへの全体管理、運営
9. その他

## [企画委員会]

### 1. 委員会構成

企画委員会委員長：福田 豊（電気通信大学）  
企画委員会委員： 安藤 明之（東京経済大学）  
河又 貴洋（長崎県立シーボルト大学）  
国島 義明（榊富士通総研）  
佐藤 佳弘（武蔵野大学）  
増淵 勝典（調布市）  
税所 哲郎（関東学院大学）

### 2. 事業計画

#### 1) 委員会開催

##### (1) 方針

各研究会の担当（委員構成）明確化による運営

##### (2) 審議事項

- ①研究会の活性化について
- ②年間スケジュール

## ③各研究会の企画立案

テーマ・形式 講師の折衝（依頼状、発表方法、配付資料）会場案内方法

## ④当日の運営と報告書作成について

## (3) 日程

未定

## 2) 事業内容

(1) 定例研究会企画実施（年間5回）

(2) 情報政策研究会（年間4回）

(3) 第22回全国大会の開催

(4) その他

①大学院生対象の定例研究会設置について（継続）

②外部に対する普及活動

- ・各種研究会等の開催スケジュールをホームページで公開
- ・他学会主催研究会等への参画（後援・共催・協賛等）

③定例研究会の内容見直し（継続）

- ・研究アクティビティ支援のための定例研究会という性格を強化する
- ・テーマ設定についての工夫
- ・会員の学術研究発表の場を作る（継続）

## 3. その他

- 国際シンポジウム開催
- H19年情報通信月間行事参加

## [情報政策研究会]

## 1. 委員会構成

主査 前田隆正（NPO 法人三鷹ネットワーク大学推進機構）

委員 上田まゆみ（NTT データクリエーション） 梅原寿夫（東洋オフィスメーション）

佐藤文一（東北通信建設） 尾関敬二（特別区職員研究所）

茶谷達雄（都市情報システム研究所） 平林幹朗（キャリアアップ企画）

藤田弥生（NTT データ） 山本秀男（一橋大学大学院）

吉井史郎（千葉県情報サービス産業協会）

## 2. 事業計画

情報化社会全般の課題解決に向け、この情報政策研究会は、政府が進める情報化施策を把握し、情報化社会の進展への諸課題を検討する研究会を企画する。

## ・ 取上げるテーマ

主要省庁の主要施策研究、政府施策の実践的事例（自治体・企業の展開事例）研究を主要テーマとする。

(テーマ候補項目案) u-Japan、EA、セキュリティー、環境・・・/各分野  
2007年問題（定例研究会等と合同開催）/厚生労働省

\*学会方針をベースに検討し、主要省庁の関係部門に折衝。

・開催予定 年間4回開催予定。 \*定例研究会の開催内容勘案。

・参加対象 団体正会員をおよび関係個人正会員

\*テーマにより、個人会員および非会員の参加も検討。

\*開催内容等により、参加費の徴収も検討。

## [学術委員会]

## 1. 委員会構成

学術委員会委員長：廣松 毅	副委員長：刀川 眞	田中 秀幸
学術委員会委員：赤堀 侃司@東京工業大学	阿部 昭博@岩手県立大学	
(アイウエオ順) 安藤 明之@東京経済大学	和泉 潤@名古屋産業大学	
遠藤 薫@学習院大学	太田 敏澄@電気通信大学	
岡田 勇@創価大学	兼田 敏之@名古屋工業大学	
木村 忠正@東京大学	熊田 禎宣@千葉商科大学	
小菅 敏夫@デジタルハリウッド大学	小林 宏一@早稲田大学	
五藤 寿樹@日本橋学館大学	櫻井 成一朗@明治学院大学	
佐藤 佳弘@武蔵野大学	島田 達巳@摂南大学	
須藤 修@東京大学	田中 秀幸@東京大学	
寺野 隆雄@東京工業大学	富山 慶典@群馬大学	
中井 豊@芝浦工業大学	中嶋 聞多@信州大学	
新川 達郎@同志社大学	根本 敏則@一橋大学	
氷鉦 揚四郎@筑波大学	福田 豊@電気通信大学	
増田 祐司@島根県立大学	松川 淳子@生活構造研究所	
山本 佳世子@電気通信大学		

## ■学会誌編集専門委員会

学会誌編集専門委員会委員長：五藤 寿樹	副委員長：岡田 勇
学会誌編集専門委員会委員：安藤 明之@東京経済大学	遠藤 薫@学習院大学
(アイウエオ順) 太田 敏澄@電気通信大学	兼田 敏之@名古屋工業大学
木村 忠正@早稲田大学	小菅 敏夫@デジタルハリウッド大学
小林 宏一@早稲田大学	櫻井 成一朗@明治学院大学
佐藤 佳弘@武蔵野大学	
刀川 眞@室蘭工業大学	田中 秀幸@東京大学
寺野 隆雄@東京工業大学	中井 豊@芝浦工業大学
中嶋 聞多@信州大学	根本 敏則@一橋大学
廣松 毅@東京大学	福田 豊@電気通信大学
藤原 博彦@明治大学	

## ■研究促進専門委員会

研究促進専門委員会委員長：増田 祐司 副委員長：佐藤 佳弘  
 研究促進専門委員会委員：全員昨年度からの継続。必要に応じて適宜追加

## ■優秀文献選考委員会

優秀文献選考委員会委員長：小林 宏一 副委員長：田中 秀幸  
 優秀文献選考委員会委員：全員昨年度からの継続。必要に応じて適宜追加

## 2. 平成19年度事業計画

- [1] 学術委員会の開催 \*年5回以上開催する
- [2] 構成 委員長、副委員長、委員
  - ・学術委員会のもとに以下の専門委員会をおく
  - 1) 編集専門委員会

- 2) 文献論文選考委員会
  - 3) 研究促進委員会
- [3] 事業・業務内容
- 1) 学会誌の発行  
年2回の刊行を定常化し、さらに英文誌を発行する。
  - 2) 学会誌の構成に関する検討  
多様なジャンルを検討する。
  - 3) 優秀文献の選考  
全国大会における研究発表賞の審査を行う。  
学位論文賞の選考  
優秀論文賞の選考  
優秀文献賞の選考
  - 4) 研究部会  
平成19年度は以下の研究部会が継続中である。  
情報社会経済システム研究部会(主査 福田豊) H18年度設立
  - 5) 学会発表データベースの移行  
さらに学会員へのサービス向上が期待される。
  - 6) 横断型基幹科学技術研究団体連合への参加
  - 7) 学術委員会主催のチュートリアル・シンポジウムの開催

● 平成18年度 第8回 学術委員会議事録

<日時>平成18年9月26日(火) 18:10～:18:40

<会場>東京大学駒場キャンパス2号館3階306号室

<出席者> 安藤明之(東経大)、遠藤薫(学習院大)、岡田勇(創価大)  
木村忠正(東大)、五藤寿樹(日本橋大)、桜井成一郎(明治学院大)、佐藤佳弘(武蔵野大)、田中秀幸(東大)、廣松毅(東大)、中井豊(芝浦工大)

(文責:田中)

<議事>

1. 前回議事録の承認

承認された。

2. 大会関連(遠藤委員)

今回の大会は盛況だった。現在集計途中ではあるが、参加者数は例年よりも多い模様。

JAS IとJSIS合同開催に関するアンケートは現在集計途中ではあるが、これまでのところほとんどが合同開催がよいとの回答。

研究発表賞の評価シートの回収がわずかである。当初JAS IとJSIS合同で行う予定だったが、直前になってJSISが対応不可能となったために、あまり表だって回収できなかったのが原因と考えられる。今回、研究発表賞を授与するかどうかについては要検討である。

3. 来年度科研申請

学会誌の申請に向けて、準備を進めることとなった(外国人の投稿、海外への有償頒布等の要件との関係を考慮)。

JAS Iとして学術図書の発行について検討を進めることとした(応募時に完成した原稿等が必要等の要件を考慮)。

シンポジウムについては、希望する委員会等があれば、そこをお願いすることとした。

4. その他

次回は、平成18年10月31日(火) 18:00～東京大学駒場キャンパス2号館3階で行う。

## [表彰委員会]

### 1. 委員会構成

- 委員長 小菅 敏夫 (デジタルハリウッド大学教授)  
副委員長 北村 歳治 (早稲田大学教授)  
委員 小林 宏一 (早稲田大学客員教授)  
前田 隆正 (NPO 法人三鷹ネットワーク大学推進機構理事)  
太田 敏澄 (電気通信大学教授)

### 2. 平成19年度事業計画

前年度、表彰推薦について表彰該当なしの分野があること、又推薦数が少ないことから会員への周知の方法や広範囲の方々からの推薦依頼をする策を図る。

また、HPの有効活用にも努力する。

#### 1) 事業内容

平成19年度の学会賞について、表彰に関する諸規程に基づき、事業の活性化を図りながら次の表彰事業を実施する。

- |        |                |
|--------|----------------|
| ①学会功労賞 | ⑤大学院学位論文賞      |
| ②優秀文献賞 | ⑥社会情報システム貢献賞   |
| ③優秀論文賞 | ⑦日本社会情報学会・秋山穰賞 |
| ④論文奨励賞 | ⑧研究発表賞         |

#### 2) 運営専門委員会

次の専門委員会を設置して行う。

- ①功労選考委員会 (学会功労賞および社会情報システム貢献賞)
- ②文献論文選考委員会 (優秀文献賞、優秀論文賞、論文奨励賞、大学院学位論文賞、および研究発表賞)
- ③秋山穰賞選考委員会

#### 3) 事業日程等

##### ①表彰候補者の推薦

推薦公募のお知らせは、学会通信への公示によりおこなう。

なお、研究発表賞は、全国大会の研究発表の中から選考する。

##### ②表彰の実施

全国大会の会員総会において行う。

### 3. その他

秋山賞については、表彰の対象を若手の研究者だけでなく、団体も含め広げることを確認し、候補の推薦をするように検討する。

### 第13回社会情報システム学シンポジウム 参加者募集

主催 社会情報システム学研究会  
共催 経営情報学会 社会情報と情報組織化研究部会  
電気通信大学 Social Informatics (社会情報学) 研究ステーション

社会情報システム学研究会では、平成19年1月26日(金)に、第13回社会情報システム学シンポジウムを、経営情報学会「社会情報と情報組織化」研究部会、電気通信大学 Social Informatics (社会情報学) 研究ステーションと共催にて、開催する予定です。

本シンポジウムでは、特別講演を行いますとともに、社会情報システム学に関する最先端の研究発表を公募いたしまして、採用の論文につきまして、学術講演論文集を発行いたします。

また、学術講演論文集に掲載された論文の抄録は、独立行政法人科学技術振興機構のデータベース JDream II の JSTPlus に収録されます。

ご関心をお持ちの多数の方々のご参加をお願い申し上げます。

なお、詳細は、<http://www.ohta.is.uec.ac.jp/ISS/iss13th.html> をご覧ください。

日時：平成19年1月26日(金) 10:30～17:00

会場：電気通信大学情報システム学研究科棟 2F 233 (大会議室), 中会議室

(〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1,

京王線：調布駅(北口)下車、徒歩9分,

大学ご案内図 URL <http://www.uec.ac.jp/acc/map.html>

キャンパスご案内図 URL <http://www.uec.ac.jp/acc/campusnai.html>

プログラム：

10:30～12:00 一般セッション講演

12:00～13:00 休憩

13:00～15:30 一般セッション講演

16:00～17:00 特別講演 木村忠正 (東京大学大学院総合文化研究科・教養部助教授)

「情報社会の複数性 (plurality of information societies)

～e-Citizenship の概念から～」

懇親会：17:30～19:30 ハルモニア (大学会館3階, 学内)

\*\*\*\*\*

参加費：個人3,000円, 登壇者5,000円, 法人10,000円, 懇親会費5,000円

※事前振込の場合, 各500円引きとなります。

2007年1月19日(金)までにお振り込みの上, 受領証をお持ち下さい。

郵便振込口座番号 00150-2-539320 社会情報システム学研究会

\*\*\*\*\*

<お問い合わせ先> 社会情報システム学研究会事務局

研究会代表 太田敏澄 Fax&Tel: 042-443-5660 e-mail: [ohta@is.uec.ac.jp](mailto:ohta@is.uec.ac.jp)

電気通信大学 大学院情報システム学研究科 情報システム運用学専攻

社会情報システム学講座 [URL:http://www.ohta.is.uec.ac.jp/ISS/](http://www.ohta.is.uec.ac.jp/ISS/)



## ☆ 事務局たより ☆

平成 18 年度の各事業は、各会員の皆様のご協力により、例年になく充実した内容で終わることが出来ました。

また、事務局業務へも一方ならずご協力を戴き厚く御礼申し上げます。

### § アドレス・郵送先変更他

アドレス、郵送先変更の場合はご連絡をお願いいたします。

PC入替につきまして、MLを更新いたしました。

つきましては、配信されていない場合にはお手数ですがご連絡をお願いいたします。

### § 会費納入のお願い

今年度の会費を請求させて戴きましたので、ご納入の手続きをお願い申し上げます。

過年度の会費がご事情により未納の会員の方へ、再度、ご確認の上、ご納入のほどお願い申し上げます。ご承知のように、本学会の運営は、会費収入で行われております。

会費収入が滞りますと、事業運営に多大な影響を及ぼします。

主旨ご理解の上、重ねてよろしくお願い申し上げます。

### § 事務局体制変更につきまして

事務局体制が変わりました。常駐はなく、月曜日を含む週 2 日ほどです。

メールでの対応はその限りではありません。

§ 会員皆様からの学会の運営・事業・組織拡充に対するご意見、ご助言を戴きたくお願い申し上げます。 宛先 TEL/FAX 0422-40-2062 E-mail [jasi@jade.dti.ne.jp](mailto:jasi@jade.dti.ne.jp)

---